

百村地区

令和7年10月16日（百村コミュニティ防災センター）

No.	質問内容	回答
1	SNS 発信導入に関する行政の支援について 自治会がSNS を導入する際に、市としてどのような支援（勉強会、マニュアル提供、広報ノウハウの共有）が可能か。 初期導入時に市職員が伴走的にアドバイスする仕組みを検討できるか。	自治会がSNSを導入する際に、アカウント開設方法や設定方法などでお困りの際は、総務契約課の窓口までお越しください。 必要に応じて一緒に手続きや設定作業を行うなど、市職員がサポートする。 自治会向けアプリはすでに市販品があり、導入している自治会もある。自治会のIT化については、今後も研究しながら自治会と協議していく。 facebookやX等のSNSは、導入の支援はできるが、発信は自治会でやっていく必要がある。
2	行政と自治会SNS の連携について 市公式アカウント(稲城市公式SNS)と自治会アカウントの相互発信・情報拡散の仕組みは可能か。 「広報いなぎ」や市の防災情報を地域SNS でも共有できるような連携モデルを構築できるか。	市公式アカウントという公的な情報発信という点から、自治会アカウントから発信する情報の相互拡散を行うことは考えていない。 ただし、自治会のSNSアカウントにおいて、市公式アカウントをフォローし、市公式アカウント等が発信した情報を引用して拡散いただくことは可能。 また、市ウェブサイト上において、自治会を含めた団体の情報発信が行える「市民団体情報ステーション」を創設したので、ぜひ活用してほしい。
3	稲城駅前のロータリーについて 稲城駅前のロータリーが整備され、自動車が停車できるスペースが減った(1台しか停車できない)。バスやタクシーからも煽られ不便である。	稲城駅前ロータリーは以前より停車可能スペースが少なくなっているが、車の侵入は許可しており、バス運行・停留の妨げにならなければ台数制限もしていない。タクシーは、乗り場(一台分)の指定をしているが、それ以外は一般車と譲り合って利用することとなっている。その旨を周知する方法は、現場を確認し、看板・道路上サイン等検討させる。
4	バスについて以下の2点を希望する。 ①いなぎ苑へのアクセスが片方向のみで高齢者が不便している。「逆回り運行」または「竖神社前バス停」新設を希望する。 ②新路線のダイヤを見ると、特に南多摩駅の始発・終発時間が早過ぎると感じる。また、乗継ぎ時間が長く考え直してほしい。	バスを取り巻く環境は、運転者不足や働き方改革の影響等によりコミュニティバスの維持が全国的に困難となっている。稲城市も小田急バスからバス全廃の申し入れがあったが、各方面との協議により新路線図(案)の提示となった。 バス路線は市やバス会社が一方的に決められるものではなく、市民の方も参加する地域公共交通会議で決定している。市もこの会議で意見を述べている。今回の意見は要望として伝えるが、できるかどうかのお約束はできない。 なお乗り継ぎ時間については、待ち時間を短くするには考えるが、稲城駅で5分以内に乗り換える等はできない。待ち時間対策として椅子や風よけの設置も考える。
5	市の人間ドック助成(1/2)を活用していたが、75歳を過ぎると無料の健康診査に変わる。検査項目が少ないので、無料で人間ドックが受診できるようにしてほしい。	ご要望として承る。

No.	質問内容	回答
6	<p>外国人の人口割合が増えると様々な問題が発生する。他の自治体(川口市)のように無尽蔵に増やさないで欲しい。</p>	<p>自治体に外国人の転入を拒否する権限はない。外国人を排除する考えは良くないと思う。一概に外国人の転入を拒否するのではなく、共生社会の実現に向けて、不法滞在者と適正な手続きをして居住される外個人は区別して考える必要があるのではないかと。国において、外国人の入国管理を含めきちんと検討すべきである。</p>
7	<p>百村地区に以下の危険箇所がある。 ①百村177番地付近にどんぐりの巨木が5本ほどあり、倒木の危険性がある。 ②公園通りの歩道が数か所ブロックが浮いており、転倒の恐れがある。 ③保健センター横(めいそう山)の階段に、秋から冬にかけて大量に落ち葉がたまる。転倒やボヤの危険がある。</p>	<p>場所を確認し、必要に応じて対応する。</p>